

2015年(平成27年)7月24日(金曜日)

以前より興味のあった「増毛山道体験トレッキングツアー」に先日参加してきた。

このルートは、江戸時代の安政4年(1857年)に浜益から増毛までの山中を伊達林右衛門が私財を投じて通行のためにつくった山道だ。だが、時代の流れとともに大自らの息吹の中にかき消されてしまっていた。

その道を、留萌在住でNPO法人増毛山道の会事務局長の小杉忠利さんをはじめ、情熱とロマンあふれる仲間数人が、8年前から復元活動を続けている。ササ刈り、倒木の



近江 美智子

(留萌・飲食店店主)

## 増毛山道

排除など、休日には山に出掛けて整備をしている。

まだまだ全面開通とはなっていないが、その一部分である11キロのコースを今回歩くことができた。険しく長い道のりを昔の人は生活のために行き来していたという。当時の人たちの苦難を少しでも体感できたらと思っていたが、珍しい草花を見つけたたびにワクワクして、先人には申し訳ないと思うほど楽しい山歩き

だった。ただ、細くぬかるんだ箇所は歩きづらく、所々に獣のふん! 活動をしている会員さんの苦勞が伝わってきた。

浜益の幌まで通れるようになるには、あと数年はかかるという。増毛山道の会のメンバーの高齢化という心配もあり、小杉さんは、たくさんの若手の参加を願っていると語っていた。

興味のある方はインターネットで「増毛山道」と検索してみてください。歴史ある山道の復元にお力を。